# 憲法九条の碑

### 建立を目指します

### 法人設立から3年半 4回目の総会を開催

5月26日に一般社団法人「百里の会」の4回目の総会が開催されました。2018年11月に法人を設立してから 3年半が経過しましたので、今までの活動を振り返り、今後の方針を確認する総会となりました。総会での報告、意 見、決定事項などを紹介します。

- ① 平和公園等の維持管理作業は、責任者・風間道夫、現地・梅沢優の体制で行い、目標であった九条の丘の看板更新を完了することができた。10カ月、17回の作業、およそ45万円を要した。20代から80代と幅広い協力を得ることができ、大きな財産となった。
- ② 平和公園への一般見学者は1年間で300人を見込んでいたが、12月に日米共同訓練が行われたため、522人と見込みを大幅に上回った。
- ③ 「憲法九条の碑」の建立は、呼びかけ団体の調整がつかず、看板の更新を優先したため、進捗せず。
- ④ 「ニュース」を隔月で発行できた。記事を集めるのは大変であるが、今後も継続したい。梅沢さんの連載 記事「百里で始めた開拓生活」が面白かったとの声あり。
- ⑤ 「矢臼別平和資料館の視察と交流」はコロナ禍のために実施できなかった。改めて計画したい。

### I 憲法九条の碑 建立を目指します —— 事業計画

- ① 平和公園等の維持管理作業は、風間理事と梅沢理事を中心に、作業体制を確立している。より若い人たちの参加を増やしたい。
- ② 今年度の作業は、草刈り・樹木の剪定を中心にして、月 I 回程度行う予定である。2つのやぐら(展望台) も今後の課題である。
- ③ ニュースは隔月発行を目指す。「百里の歴史」は連載を続ける。
- ④ 原案ができている「反対運動の歴史を紹介するパンフレット」を完成させたい。
- ⑤ 「憲法九条の碑」の建立は、引き続き百里平和委員会を呼びかけ団体とするかたちて進める。あわせて百 里基地反対同盟が呼びかけ団体となることも検討する。
- ⑥ 「共有者を増やす取り組み」は、百里の会が地主として土地を提供し、ほかの団体が募集活動を行う方式も検討する。これは、土地代金が事業収入になるのを避けるためと、運動を広げるためである。
- ⑦ 「土地利用規制法」が9月に施行される。新たな状況が生まれと時には、対応しなければならない。
- ⑧ 整備済みの「ゆうもあ館」(小屋)の内外の整理が必要である。

### 2 全員を再任 ―― 役 員

理事7人と監事 | 人は、全員再任されました。また、会長・副会長・事務局長も全員再任されました。 会長:伊達郷右衛門 副会長:梅沢優、谷萩陽一 事務局長:栗又衛

### 8月7日(日)に平和公園の草刈りを行います

9時30分に平和公園集合 参加可能な方は、080-9457-6381まで。

# 第22号 2022年7月25日

### 一般社団法人 百里の会

茨城県水戸市見川 5-127-281 Tel 080-9457-6381 E-mail hyakurip@gmail.com HP https://hyakurip.web.fc2.com

### 基地を見下ろす大看板

# 自衛隊は憲法違反

## 50年間、何を見てきたか その4

### | 2 パイプを咥えてやってきたマッカーサー

トルーマン米大統領は 1945年8月14日、日本がポツダム宣言を受託し無条件降伏したのと合わせて、日本占領の連合国最高司令官にマッカーサー元帥を任命し、記者団に発表。その前にソ連スターリンのソ



連極東軍司令官との複数司令官の提案を拒否し了解 させての任命でした。

トウモロコシの芯をくり抜いてつくったコーンパイプを 咥えて、カーキ色のオープンシャツ、丸腰姿で 1945年 8月30日、厚木飛行場のタラップを降りたったマッカー サーの姿は日本人の誰もが驚きました。世界大戦に勝利した将軍の威厳はありません。イギリスのチャーチル 首相をして「大戦中でこのような振舞」をしたのは彼だけだと言わしめました。

わずか先遣隊150名を2日前に厚木に進駐させていただけでした。マッカーサーの幕僚も日本政府も反対しましたが、マッカーサーが押し切ったと言います。無条件降伏したとはいえ、まだ完全武装の血気盛んな日本軍が関東には30万配備されていました。特に厚木基地は特攻隊の練習基地で反乱を叫んでいたのでしょうか。植民地支配の征服者かそれともファシズムを倒した平和主義者か、国民は不安に駆られていました。コーンパイプのスタイルは何を語っていたのか。マッカーサーの思惑は那辺にあったのでしょうか。

#### Ⅰ3 玉音放送とマッカーサー

ひとつは、マッカーサーの日本占領の最大の目的は連合国による日本の民主化・ポツダム宣言の実施にありました。しかし、その実施の前提には、降伏したとは言え300万の帝国軍隊の武装解除がされなければ民主化の占領政策は実行できません。まずもって日本軍の解散が先決事項でした。マッカーサーはこのことを、天皇に対して軍隊・国民が戦前と変わらない威厳と尊敬の念を持っているかどうかに掛かっていると判断します。少しでも軍服姿の征服者のイメージをなくそうと考えたのではないでしょうか。

それは、天皇の終戦の詔書(8月15日の玉音放送)を聞いた国民・軍隊の動向が判断材料でした。詔書には日本の敗戦とか天皇の責任については触れていませんが、ポツダム宣言を受託したと(無条件降伏)を述べ、「朕は時運の趣く所、堪え難きを堪え忍び難きを忍び以て万世の為に太平を開かんと欲す。」と述べ最後に「爾臣民其れ克く朕が意を体せよ。」と天皇の気持ちを汲んで理解せよと結んでいます。

沖縄では4月 | 日から沖縄本島で日米決戦が始まりますが、牛島満32軍司令官の自決をもって6月23日組織戦は終わります。住民は | 2カ所のテント村に移されます。8月 | 5日の玉音放送は聞けず、米軍より布告でもって知らされます。

この玉音放送を聞いて国民は天皇に対する尊敬の 念が変わったのか、変わらないのかマッカーサーは見 守ります。結果はすぐに出ました。外国や日本に駐留す る日本軍は天皇の命令に従って1師団の反乱も起こさ ず、日米両国にひとりの犠牲者を出さず3カ月で日本 軍は完全武装解除されたのです。もし、反乱が起きて いたら戦後の民主化はどうなったか、想像がつきませ ん。ソ連を中心に極東委員会がどうように動くか、連合 国とは言え実際にはアメリカの単独占領であった日本 の占領は複雑化していったでしょう。マッカーサーの政 治的賭けとも思われる"コーンパイプ"は大きな成果を 果たしました。

そして、マッカーサーは天皇の国民的権威を確認し、 戦犯とせず、「象徴天皇」とし戦後の民主改革に利用 してきます。多くの国民は敗戦を悔やみましたが、戦争 は終わり無差別の空爆などがなくなりほっとし、平和の 大切さを噛みしめていました。同時に家は焼かれも糧 危機をどう乗り切るか必死な時代を迎えます。明戦 来、戦争に敗れたことのない日本人が初めての敗戦体 験。原爆・無差別空襲・沖縄地上戦という戦争体に 日本の平和のこころに根づいていきます。品川で焼 んでいた小生の家も5月24~25日の大空襲でれ、焼け野原となりました。終戦後、上野駅の東口とれ、焼け野原となりました。終戦後、上野駅の東印とれ、焼け野原となりました。終戦後、上野駅の東に焼 い子供たちが、100人以上みすぼらしい衣服で るものもなくしゃがんでうずくまっていた光景はいまで も脳裏に焼き付いています。

### I4 降伏文書とマッカーサー

もう一つは、マッカーサーは植民地支配を目的に日本に来たのではない。戦後の国際社会にあって平和と民主主義を目指す日本を築くために、ファシズムを根絶しその再現を許さず、理想の中立日本の実現の使命を帯びてやってきたことを国民にアピールするために軍服姿をさけたのではないでしょうか。コーンパイプはその意味を持っていました。

それは9月2日の東京湾の米艦船ミズーリ号甲板で の降伏調印式におけるマッカーサーの演説にみること ができます。

「われら主要参戦国の代表はここに集まり、平和恢復 の尊厳なる条約を結ばんとしている。相異なる理論とイ デオロギーを主題とする戦争は世界の戦場において解 決され、もはや論争の対象とはならなくなった。また地 球上の大多数の国民を代表して集まったわれらは、も はや不信と悪意と憎悪の精神を懐いて会合しているの ではない。否、ここに正式にとりあげんとする諸事業に 全人民を残らず動員して、われらが果たさんとしている 神聖な目的に叶うところのいっそう高い威厳のために 起ち上がらしめることは、勝者敗者双方に課せられた 責務である。この厳粛なる機会に、過去の出血と殺戮 の中から、信仰と理解に基礎づけられた世界、人間の 威厳とその抱懐する希望のために捧げられたより良き 世界が自由と寛容と正義のために生まれ出でんことは 予の熱望するところであり、また全人類の願いであ る。」

ミズーリ号の甲板で聞いていた外務省情報部長は、 敗者をまえに「切々として自由と寛容と正義を訴える。 最悪の侮辱を覚悟していた私は本当に驚いた。私は ただただ感動した。呪縛され、電撃にあったように、身じ ろぎしなかった。生ける勇士にも、死せる犠牲者にも、こ の演説こそは、まことに永久に枯れることなき花輪であった。」と名演説を絶賛する。

ここには勝者による敗者への征服者としての言ではなく、平和で自由と寛容と正義という全人類の願いを実現せんとする決意が述べられている。マッカーサーはまさに自ら征服者としてではなく、平和の使者として日本に進駐してきたことを強調するためにコーンパイプのスタイルでやってきたこと、この事を暗に理解させたかったのではないかと思われる。

### | 15 戦後の民主改革

### それは戦争の反省・教訓なしには語れない

マッカーサーの日本進駐によって一挙に民主化は進みます。それは資本主義体制を打破し新しい社会体制を創ることではありませんでしたが、徳川幕府が倒れ近代国家が生まれた明治維新に勝るとも劣らない一大改革でした。戦前の軍国主義の日本は、自由と民主主義が剥奪され基本的人権が認められない、国民に

とって暗黒社会でした。第二次世界大戦で日本国民は310万人の犠牲者を出しましたが、軍靴と銃剣で中国をはじめとするアジア諸国に侵略した日本軍は正確把握は不可能と思いますが、少なくともその数倍の1500万人以上の人たちをあやめました。

また、世界史の観点からの最大の不名誉な汚点は、1928年にパリ不戦条約を踏みにじった事です。この国際条約は戦争放棄を初めて決めた画期的なものでした。この条約を初めに蹂躙したのが1931年の満州事変です。国連は調査団を派遣し調査して、不当な侵略で満州国は認められないと報告書を1932年2月に出します。日本は躊躇せず国連を脱退します。続いていてドイツも10月に国連を脱退します。ファシズム台頭がヨーロッパに広がり第二次世界大戦に突入していきます。私たちはこの世界的な不名誉を決して忘れてはなりません。

パリ不戦条約では戦争の放棄を決めましたが、残念 ながら各国は戦力不保持というところまでには届きま せんでした。

戦後日本の憲法9条は自ら戦力不保持を前提に戦争の放棄を掲げ、世界によびかけました。世界平和という理想に向けて不名誉な"蹂躙"から"名誉ある地位を占めたい"(憲法前文)と自ら理想に向けて第1歩を現実化しました。

私たちは戦後の民主化を考える時、この戦前の戦争の反省なくして語るのは許されません。私は戦後生まれで戦前のことは分かりませんという政治家が大手を振っているのは政治家として失格です(因みに故安倍元総理は1956年生まれです)。戦後の新生日本の民主化・日本国憲法の制定を正しく理解しようとすれば戦前の戦争体験の教訓を踏まえなければなりません。 9条改憲論者は戦前日本の戦争について語ろうとしません。憲法を語る資格が問われます。

さて、戦後の民主改革は一朝一夕に運んだわけではありません。それはアメリカ国内でも国務省と参謀本部、アメリカ政府とマッカーサー、GHQ(総司令部)とソ連その他の国々、GHQと旧日本の支配層及び国民の政治改革運動などなどとの関係矛盾はまさに波乱万丈を呈します。このことを学ぶには6年8カ月という長い占領期間の性格とその時々の特徴を前もって大筋として理解しておく方がベターだと思います。

また、世界の平和民主勢力を敵にまわし敗れたファシズム3国、日・独・伊の敗戦の仕方、終戦の条件・状況がそれぞれ違います。それに米英とソ連の戦後の思惑がからみ新たな亀裂・冷戦構造を形づくっていきます。敗戦前後の日・独・伊のそれぞれの性格・特徴を比較することは、戦後日本の民主化をいっそう理解するうえで大切かと思われます。

(次号につづく 伊達郷右衛門)

# 関東一円から5千人参加 百里基地大集会ひらく

1962年12月



1962年 12月17日 茨城新聞

メーン滑走路の着工で新段階を迎えた東茨城郡小川町の航空自衛隊百里ジェット機基地周辺で、16日日本平和委員会、安保共闘会議など主催の日韓会談反対、キューバ支援、基地撤廃、核武装阻止、生活と民主主義を守る百里大集会が開かれた。この大会には関東一円の平和委員会、安保共闘会議をはじめ、県下の自治労、金属、農協、全日労など43団体から約5千人(石岡警察署調べ)が参加、百里基地反対ではかつてない大集会となった。一方県警では万一にそなえ機動隊、石岡、土浦両署員約150人を動員、警戒にあたったが大会は平穏に終わった。この日会場にあてられた旧正門付近には午前9時ごろからプラカードや赤ハタをかかげて各地の代表が続々と集結、正午までに大型バス75台で5千人が乗り込んだ。

大会は遠方の到着が遅れたため予定より1時間遅れて正午から開き、杉田一県平和委員会事務局長の司会で、議長団に五十嵐武夫県平和委員会日立会長、笹崎治雄自治労県書記長、石崎カ男結城市職組書記長、後藤欣也酪農県連会長の4氏を選び、岩間正男参議院議員(共産党)らがあいさつのあと、①沖縄、

小笠原など本土から基地をなくそう②日韓会談粉砕のために一大統一行動に立ち上がろうなど4つの大会スローガンを採択、さらに百里基地滑走路工事の即時中止、強制収用反対、土浦ナイキ基地建設反対などを決議した。

このあと一行は基地正門まで1キロのコースをデモ行進し、同正門前で、「基地を返せ、強制収用反対」と叫びながら引き返し、さらに午後4時から小川町目抜き通りをデモ行進し、4時半散会した。

なおこの大会には社会党が参加を拒否したため地元基地反対同盟信戸智利雄委員長の出方が注目されたが、同委員長は大会の終りごろ出席、「私の立場は複雑なので同委員長ではなくて、私個人として参加した」と前置きして「平和を守るためにこんごも百里基地闘争の支援をお願いします」と簡単にあいさつした。

(以上は1962年12月16日、百里5千人集会開催の翌日、茨城新聞に載った記事(見出しも)をそのまま掲載しました。議長団の五十嵐さんには再建県平和委員会の2代目の会長(1994~2001年)になっていただきました。)